

2025 年 7 月 25 日

私立大学図書館協会
加盟大学図書館長 様

私立大学図書館協会会長校
関西学院大学図書館
館 長 難波 功士（公印省略）

私立大学図書館協会総会・研究大会当番校
京都女子大学図書館
館 長 中山 玲子（公印省略）

第 86 回（2025 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会の参加方法について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

6 月 25 日付私大図協発第 25-53 号の開催通知でお知らせしておりました今年度の総会・研究大会の参加方法につきまして、下記のとおりご案内申し上げます。

なお、第 86 回（2025 年度）総会はメール会議、研究大会はオンライン開催となります。総会・研究大会の参加費は昨年度同様に徴収いたしません。加盟館の皆様におかれましては図書館運営にご尽力の中でご多用と存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 総 会

<総会>

日 時：2025 年 8 月 26 日（火）12：00 ～ 9 月 2 日（火）17：00

形 式：メール会議

※総会・研究大会 Web ページ <https://www.jaspul.org/collegium/cat/2025/>

このページに加盟校限定ページへのリンクを張ります

総会の資料、議決用 Web フォーム接続先は、開始日の前日を目途に、加盟校限定ページに掲載します

<挨拶・祝辞>

協会ホームページ（加盟校限定ページ）に祝辞および挨拶を掲載いたします。

祝 辞 文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付

学術基盤整備室長 土井 大輔

国立情報学研究所 学術基盤推進部 次長 細川 聖二

次期当番校挨拶 崇城大学 図書館長 関根 浩子

2. 研究大会

テ ー マ：学生の主体的な学びを支えるラーニングコモンズの在り方

日 時：2025 年 9 月 3 日（水）13：00～17：00

形 式：YouTube Live（限定公開）でのオンライン開催 <<申込不要>>

接続先 https://youtube.com/live/aAgv_J2PX2c?feature=share



※1 配信中は「巻き戻し再生」「追いかけて再生」ができません

※2 後日、録画映像を加盟校限定ページにて配信いたします

配信会場：京都女子大学（京都市東山区）

プログラム：3～4 ページをご参照ください。

3. その他

Web 形式のアンケートを実施します。総会・研究大会終了後に加盟校宛てに回答のご依頼をさせていただきます。

【問い合わせ先】大会事務局 京都女子大学図書館（担当：堀）

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35

電 話：075-531-7066

E-mail：tosho@kyoto-wu.ac.jp

第 86 回（2025 年度）私立大学図書館協会研究大会

< 講演プログラム >

日 時：2025 年 9 月 3 日（水）13：00～17：00

形 式：YouTube Live（限定公開）でのオンライン開催 <<申込不要>>

接続先 https://youtube.com/live/aAgv_J2PX2c?feature=share



※1 配信中は「巻き戻し再生」「追いかけて再生」ができません

※2 後日、録画映像を私立大学図書館協会ホームページ（加盟校限定ページ）にて配信予定

配信会場：京都女子大学（京都市東山区）

テーマ：学生の主体的な学びを支えるラーニングコモンズの在り方

近年、大学においては、学習空間の確保に加え、必要な場合に活用できるコンテンツと学習を補助する人的サポートを有機的に連携させたスペースを整備することが必要であるとされている。大学の施設においては、図書館がその役目を担うべき場所となるが、本学では 2017 年（平成 29 年）の図書館新築に合わせて「ラーニングコモンズ」を整備することとなった。

「ラーニングコモンズ」とは、個人学習はもちろんのこと、多人数のグループ学習や成果発表など多様な学習活動に対応した、開放性・透明性の高い空間のことを指し、その目的として、学生の主体的な学びの支援と、協調性やコミュニケーション能力を養うことがあげられる。

本学においても新図書館の開館とともに、ラーニングコモンズが本格的に始動しようとしていた矢先に、2019 年末からの新型コロナウイルスの蔓延による社会活動の大幅な制限・自粛が起これ、大学図書館もその影響を受けラーニングコモンズの本来的な利活用ができない状態に陥った。

いわゆる「コロナ渦」が収束しつつある昨今、ラーニングコモンズの活発な利用の促進と、その将来性を今一度検討すべきタイミングであり、今回の研究大会において京都女子大学は「学生の主体的な学びを支えるラーニングコモンズの在り方」をテーマとさせていただいた。

各大学図書館において、今後のラーニングコモンズの必要性や利活用、展望を思案される中で、今回の研究大会がその一助となれば幸いである。

（1）開会挨拶

13：00～13：10

会 長 校 挨拶：難波 功士（関西学院大学図書館 館長）

研究大会当番校挨拶：竹安 栄子（京都女子大学 学長）

（2）講演 I

13：10～14：10

演 題：ラーニングコモンズとしての大学図書館を再考する

講演者：小山 憲司（中央大学 文学部教授）

発表者は2012年に「ラーニング・コモンズを再考する」と題する講演を行った。図書館以外にもラーニングコモンズという名称の学習空間が設置される中、大学図書館の今後を考えるうえで利用者に注目することを提案した。利用者に着目する活動はユーザーエクスペリエンスとして知られ、海外の大学ではそれを担当する図書館員もいる。本発表では発表者が訪問した海外の3つの大学図書館の事例を取り上げながら、学習空間としての大学図書館をどのように育てるかを考えたい。

(3) 休憩

14 : 10～14 : 20

(4) 講演Ⅱ

14 : 20～15 : 20

演 題：学生に選ばれる学習空間になるには：ラーニングコモンズの設計から学生ワークショップまで

講演者：渡辺 猛（株式会社佐藤総合計画執行役員・立命館大学非常勤講師）

桂 まに子（京都女子大学 発達教育学部発達教育学科講師）

学生の学び方や学習環境へのニーズが多様化する中、大学図書館のラーニングコモンズには「選ばれる学習空間」としての価値が求められるようになってきた。本発表では、まず設計の観点からラーニングコモンズに共通する空間的特徴を整理する。次に、京都女子大学を事例に、その空間を学生たちが学習の場として「選ぶ／選ばない」理由を、学生ワークショップを通じて可視化する。見えてきたニーズや可能性を踏まえ、今後のラーニングコモンズのあり方を提案したい。

(5) 休憩

15 : 20～15 : 30

(6) 講演Ⅲ

15 : 30～16 : 30

演 題：『アクティブラーニングコモンズ』と『貴重書展示コーナー』—ミスマッチからベストマッチへ—

講演者：中前 正志（京都女子大学 名誉教授）

本学では、ラーニングコモンズ内に展示コーナーを設置し、そこで図書館が収蔵する貴重資料を陳列している。貴重書展示コーナーが学生に「ラーニングコモンズ」という場所に興味をもってもらうためのきっかけとなり、その活発な利用へと繋がっていくことを目標に、本学図書館が行っている取り組みについてご紹介させていただきたい。

(7) 閉会挨拶

16 : 30～16 : 40

研究大会当番校挨拶：中山 玲子（京都女子大学図書館 館長）

※現在コンテンツ作成中につき、講演時間等は目安であることを申し添えます。

以上